

2026年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月14日

上場会社名 株式会社カヤック 上場取引所 東  
 コード番号 3904 URL <http://www.kayac.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 柳澤 大輔  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 丹治 拓未 (TEL) 0467-61-3399  
 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 決算説明会開催の有無 : 有 (個人投資家向け、証券アナリスト・機関投資家向け)  
 (百万円未満切捨て)

1. 2026年12月期第1四半期の連結業績(2026年1月1日~2026年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第1四半期	5,202	11.4	340	36.5	355	88.3	185	△55.2
2025年12月期第1四半期	4,667	19.4	249	53.9	188	△15.3	413	196.5

(注) 包括利益 2026年12月期第1四半期 200百万円(△48.9%) 2025年12月期第1四半期 391百万円(164.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第1四半期	12.02	—
2025年12月期第1四半期	25.64	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載していません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第1四半期	13,245	6,438	44.4
2025年12月期	13,556	6,297	42.5

(参考) 自己資本 2026年12月期第1四半期 5,882百万円 2025年12月期 5,759百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	—	0.00	—	3.90	3.90
2026年12月期	—	—	—	—	—
2026年12月期(予想)	—	0.00	—	3.90	3.90

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年12月期の連結業績予想(2026年1月1日~2026年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	23,000	14.5	1,000	△6.6	950	11.7	600	△12.3

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年12月期1Q	16,108,800株	2025年12月期	16,108,800株
② 期末自己株式数	2026年12月期1Q	700,266株	2025年12月期	700,266株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2026年12月期1Q	15,408,534株	2025年12月期1Q	16,108,534株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予測値及び将来の見通しに関する記述・言明は、当社が現在入手可能な情報による判断及び仮定に基づいております。その判断や仮定に内在する不確実性及び事業運営の内外の状況変化により、実際に生じる結果が予測内容とは実質的に異なる可能性があり、当社は将来予測のいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期連結累計期間の経営成績・財務状態の概況	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	8
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(セグメント情報等の注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	9

## 1. 当四半期連結累計期間の経営成績・財務状態の概況

### (1) 経営成績に関する説明

当社グループは、創業以来25年以上にわたり「面白法人」を標榜し、「つくる人を増やす」という経営理念のもと事業を展開しております。既存の枠組みにとらわれない独自のアイデアと先端テクノロジーを活用し、受け手に驚きや感動を生むコンテンツを企画・開発することで、社会に新たな価値を創出することを目指しております。

当社グループはデジタルを中心に複数のコンテンツ領域で事業を展開しており、これまでクリエイターを中心とした経営アセットの横断的かつ柔軟な活用を背景に、単一セグメントとして開示を行ってまいりました。

しかしながら、事業規模の拡大及び事業内容の高度化・複雑化が進む中で、当社グループの中期的な成長の方向性をより明確にお示しするとともに、各事業のフェーズや特性に応じた成長を加速させることを目的として、当連結会計年度よりセグメント情報の開示を開始し、事業を「ブランド&マーケティング」「ゲーム・アニメ」「ちいき資本主義」「その他」の4つのセグメントに整理いたしました。これにより、各事業の成長フェーズや収益特性、経営資源の配分及び投資判断についての透明性を高め、グループ全体としての持続的な成長と企業価値の向上を図ってまいります。各セグメントの概要及び当期の主な方針は以下のとおりです。

#### ① ブランド&マーケティング

広告の企画・プロデュースを起点として、企業・プロダクト・地域を対象とした支援を行う受託事業群で構成されております。ブランデッドコンテンツ制作、コミュニティマーケティング、インフルエンサー施策、イベント制作、商品開発、DX推進支援等を担う子会社・事業を含み、従来は個別に提供してきた受託機能を横断的に統合することで、戦略設計から実行、運用・改善までを一気通貫で担える体制を構築しております。

本セグメントにおいては、案件単位での制作・実装に留まらず、複数の専門機能を組み合わせることで、顧客の課題設定や施策全体の設計段階から関与し、継続的な運用・改善を含む支援モデルへの転換を進めております。これにより、単発的な成果創出ではなく、ブランドや事業、プロダクトの価値を中長期で積み上げる役割を担うことが可能となり、当社の持つコンテンツ開発力を核とした付加価値の高い支援へと進化させることで、利益率の安定化及び持続的な収益性向上を図る方針です。

#### ② ゲーム・アニメ

グローバル市場を対象としたカジュアルゲーム事業の深化と、アニメーション領域への投資を推進するセグメントであり、当社グループの核となる中期的な成長投資領域と位置づけております。

カジュアルゲームにおいては、ハイパーカジュアルゲームを中心に隣接ジャンルへの拡張を進めており、日本企業として世界市場におけるアプリダウンロード数で5年連続1位を達成しております(出所: Sensor Tower / data.ai / AppMagic)。この実績は、ゲーム領域における「プレイヤー数(年間総ダウンロード数)」という評価指標において、当社が世界でもトップクラスのポジションにあることを示すものであり、本ブランドを活かしたパートナーとの協調や経営アセットの獲得を通じて、さらなる成長を目指してまいります。

また、大型IPとの共同開発による新規ゲーム事業を推進し、次期において約3億円の大型先行投資を行います。こちらは、約2年弱の開発期間を経て将来の飛躍的な成長を目指すものですが、当社グループの会計方針としてこの開発投資は連結損益計算書の費用として計上の予定となります。アニメ領域についても、世界的な需要拡大を背景に、次なる成長の柱として探索を継続してまいります。

#### ③ ちいき資本主義

国内トップの利用数を誇る移住・関係人口プラットフォーム「スマウト」を中心に、地域の人的資本領域を対象としたセグメントです。全国約1,700の自治体のうち約1,200の地域への導入が進んでおり、今後は民間企業(toB)への商域拡大を進めることで、さらなる収益基盤の強化を図ってまいります。人口減少に伴う労働力不足という社会課題を背景に、域内外人材のマッチングを通じた持続可能な地域経済の形成を支援し、プラットフォーム事業と関連受託事業を組み合わせた高収益な事業モデルの確立を目指します。

#### ④ その他

新規事業の育成及び面白法人としてのブランド価値向上に資する事業群を管理するセグメントです。規律ある多角化を前提に、独自性の高い事業への投資と管理を行い、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第1四半期連結累計期間における日本経済は、緩やかな持ち直しの動きがみられたものの、消費者マインドの弱さに留意が必要な状況で推移いたしました。

このような環境の中、当社グループにおいては、DX関連案件及び独創的で話題性のあるコンテンツの受託開発が順調に推移し、複数のヒットコンテンツのローンチを実現いたしました。また、カジュアルゲーム領域においては、日本企業として世界市場におけるアプリダウンロード数で5年連続1位を達成しております。加えて、上記のとおり今期は投資フェーズとなりますが、大型IPとの共同開発による新規ゲーム事業も順調に進んでおります。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高は5,202,062千円（前年同期比11.4%増）、営業利益は340,829千円（前年同期比36.5%増）、経常利益は355,316千円（前年同期比88.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は185,159千円（前年同期比55.2%減）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

#### （ブランド&マーケティング）

売上高は1,791,249千円（前年同期比12.9%増）となりました。また、セグメント営業利益は217,129千円（前年同期比36.8%増）となりました。特に子会社の㈱カヤックボンドのDX関連の受託領域が好調に推移しております。

当四半期は音威子府村でのAI副村長「ねっぷちゃん」などの話題性あるコンテンツのローンチが進みました。本セグメントの主要KPIは期末にまとめて開示いたします。

#### （ゲーム・アニメ）

売上高は2,494,304千円（前年同期比11.2%増）となりました。また、セグメント営業利益は160,235千円（前年同期比6.8%減）となりました。上記の方針にも記載の大型IPとの共同開発による新規ゲーム事業による投資が進んでおります。

主要KPIの新作タイトルリリースについては、「Pistol Duel」「Aqua Form」の2本（通期目標10本）のハイパーカジュアルゲームと、「Untape」というハイブリッドカジュアルゲーム（通期目標4本）のタイトルをリリースし、好調に推移しております。

#### （ちいき資本主義）

売上高は225,751千円（前年同期比18.6%減）となりました。また、セグメント営業利益は36,854千円（前年同期比24.0%減）となりました。クライアントである自治体の会計年度の影響で、当四半期に収益が集中しやすい構造です。

主要KPIのスマウトの各指標については、ユーザー数：88,892（通期目標130,000）、有料地域数：997（通期目標1184）、導入比率：11%（通期目標20%）となり、順調な滑り出しとなっております。

#### （その他）

売上高は690,757千円（前年同期比23.3%増）となりました。また、セグメント営業利益は17,748千円（前年同期は△19,038千円）となりました。

なお、本セグメントは事業内容が多岐に渡るため、主要KPIは未設定となっております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ311,703千円減少し、13,245,041千円となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益の計上等による現金及び預金の増加439,412千円及び売上債権及び契約資産の減少538,873千円であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べ452,763千円減少し、6,806,563千円となりました。主な要因は、未払法人税等の減少185,880千円及び長期借入金の減少211,080千円であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ141,059千円増加し、6,438,477千円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等による利益剰余金の増加125,066千円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績見通しにつきましては、2026年2月16日公表の「2025年12月期決算短信〔日本基準〕(連結)」に記載の予想を変更しておりません。

今後、当社グループの業績に影響を与える事象が発生した場合には速やかに開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,250,215	5,689,627
売上債権及び契約資産	3,746,677	3,207,804
営業投資有価証券	408,934	419,374
仕掛品	129,715	83,185
その他	473,960	425,844
貸倒引当金	△15,739	△6,638
流動資産合計	9,993,763	9,819,197
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,231,758	1,196,167
工具、器具及び備品(純額)	91,554	87,719
土地	632,228	632,228
その他(純額)	53,568	53,981
有形固定資産合計	2,009,110	1,970,096
無形固定資産		
のれん	451,770	419,131
その他	367,988	361,318
無形固定資産合計	819,758	780,450
投資その他の資産		
投資有価証券	243,332	216,651
繰延税金資産	213,378	201,772
その他	341,286	320,759
貸倒引当金	△63,885	△63,885
投資その他の資産合計	734,111	675,297
固定資産合計	3,562,980	3,425,843
資産合計	13,556,744	13,245,041
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	719,982	666,901
短期借入金	499,165	516,664
1年内返済予定の長期借入金	929,557	876,935
未払金	923,250	833,474
未払費用	352,351	297,666
未払法人税等	368,057	182,177
契約負債	121,469	93,672
預り金	1,294,407	1,454,982
その他	164,414	207,609
流動負債合計	5,372,655	5,130,083
固定負債		
長期借入金	1,800,918	1,589,838
その他	85,752	86,642
固定負債合計	1,886,671	1,676,480
負債合計	7,259,326	6,806,563

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	900,238	900,238
資本剰余金	1,145,529	1,143,730
利益剰余金	4,092,733	4,217,799
自己株式	△391,581	△391,581
株主資本合計	5,746,919	5,870,186
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,027	11,835
為替換算調整勘定	△18	△3
その他の包括利益累計額合計	13,009	11,832
新株予約権	37,819	38,875
非支配株主持分	499,669	517,583
純資産合計	6,297,418	6,438,477
負債純資産合計	13,556,744	13,245,041

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2025年1月1日 至2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自2026年1月1日 至2026年3月31日)
売上高	4,667,758	5,202,062
売上原価	2,033,479	2,575,478
売上総利益	2,634,278	2,626,584
販売費及び一般管理費	2,384,663	2,285,755
営業利益	249,614	340,829
営業外収益		
受取利息	1,642	29,818
受取配当金	883	1,463
為替差益	—	19,501
その他	4,483	8,312
営業外収益合計	7,009	59,095
営業外費用		
支払利息	5,997	8,665
持分法による投資損失	39,506	31,389
為替差損	22,315	—
その他	86	4,553
営業外費用合計	67,906	44,608
経常利益	188,717	355,316
特別利益		
投資有価証券売却益	44,998	—
関係会社株式売却益	235,622	2,554
事業譲渡益	5,345	—
特別利益合計	285,966	2,554
税金等調整前四半期純利益	474,683	357,870
法人税、住民税及び事業税	142,203	142,885
法人税等調整額	△64,907	13,119
法人税等合計	77,295	156,004
四半期純利益	397,387	201,865
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△15,682	16,705
親会社株主に帰属する四半期純利益	413,070	185,159

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
四半期純利益	397,387	201,865
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,166	△1,784
為替換算調整勘定	—	△3
その他の包括利益合計	△6,166	△1,787
四半期包括利益	391,221	200,077
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	407,542	183,964
非支配株主に係る四半期包括利益	△16,320	16,113

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

前第1四半期連結累計期間(自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ブランド& マーケティング	ゲーム・ アニメ	ちいき 資本主義	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,586,513	2,243,618	277,290	560,335	4,667,758	—	4,667,758
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43,759	1,740	3,165	35,867	84,531	△84,531	—
計	1,630,272	2,245,358	280,455	596,202	4,752,289	△84,531	4,667,758
セグメント利益	158,735	172,016	48,512	△19,038	360,224	△110,610	249,614

(注) 1. セグメント利益の調整額△110,610千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	ブランド& マーケティング	ゲーム・ アニメ	ちいき 資本主義	その他	計		
売上高							
外部顧客への売上高	1,791,249	2,494,304	225,751	690,757	5,202,062	—	5,202,062
セグメント間の内部 売上高又は振替高	35,194	3,047	110	59,980	98,331	△98,331	—
計	1,826,443	2,497,351	225,861	750,738	5,300,394	△98,331	5,202,062
セグメント利益	217,129	160,235	36,854	17,748	431,969	△91,139	340,829

(注) 1. セグメント利益の調整額△91,139千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等の全社費用であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれん償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年1月1日 至 2026年3月31日)
減価償却費	52,286千円	59,104千円
のれん償却額	45,861千円	32,639千円